

生物多様性自治体ネットワーク加盟自治体の生物多様性に係るホットトピックを定期的に取りまとめ、自治体間で事例の共有を図るとともに、対外的な発信をおこなうものです。

★12月配信の記事募集中（〆切12月27日(金)）会員等に共有いただける記事を募集中です！

生物多様性自治体ネットワークについて <https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/j-gbf/nlgb/>

## ●生物多様性に関する優れた取組を実践している企業を認証しました【愛知県】

愛知県では、生物多様性に関する優れた取組を実践している企業を認証する「あいち生物多様性企業認証制度」を2022年度から実施しています。

2024年度は、優良認証企業7社、認証企業7社を選定し、11月13日に認証式を行い、県産木材を利用した認証書を授与しました。（累計67社）

企業は、企業敷地を活用したビオトープの整備や社員の保全活動への参加など大きな役割を担っていることから、本認証制度では、組織の方針・体制等に加え、「あいち生物多様性戦略2030」で企業に求めている4つの基本方針（まもる・つなげる・つかう・ひろめる）を踏まえて評価項目として設定し、優良認証と認証の2つの区分で認証しています。本認証制度を通じて、取組意欲の醸成と他企業への波及を図り、優良な取組が県内に広がることを目指しています。



< 認証式 >



< 認証書（木製） >

< ウェブサイト >

<https://kankyojoho.pref.aichi.jp/ikimono/certification/>

< 問い合わせ先 >

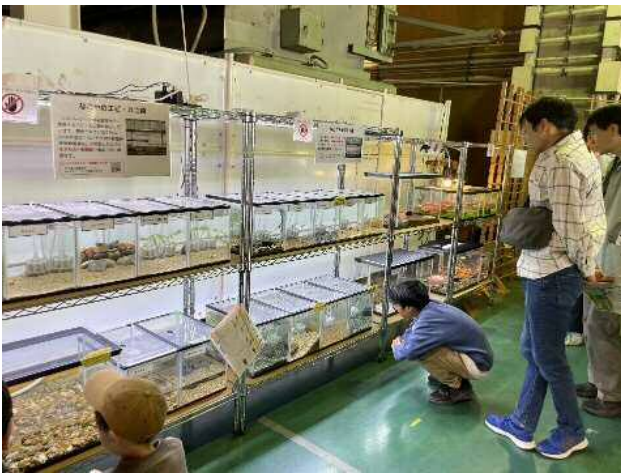
愛知県環境局環境政策部自然環境課生物多様性保全グループ 担当：大島、深見

TEL：052-954-6475 Mail：[shizen@pref.aichi.lg.jp](mailto:shizen@pref.aichi.lg.jp)

## ●なごや生物多様性センターまつり／生物多様性ユースひろばを開催しました！【名古屋市】

令和6年11月9日（土）になごや生物多様性センター（名古屋市天白区元八事5丁目230番地）で開催した「なごや生物多様性センターまつり／生物多様性ユースひろば」は、41団体にご出展いただき、約3,000の方にご来場いただきました。当該イベントは、保全団体や研究・教育機関・中学高校の生物部等がブース出展やステージ発表を通して、生きものの魅力や自然環境を守ることの大切さをお伝えするとともに、出展者同士が交流する場として開催しています。

今年度は、なごや生物多様性センターで維持管理している生きものや収蔵している標本を「ミニ水族館」「ミニ博物館」として特別公開しました。また、同時開催の生物多様性ユースひろばでは、出展校が昨年の11校から15校に増え、中高生によるステージ発表では、専門的な活動内容と発表に観客が興味深く耳を傾けていました。



ミニ水族館の様子



ミニ博物館の様子



中高生によるステージ発表の様子

<ウェブサイト>

<https://ikimono.city.nagoya.jp/>

<問い合わせ先>名古屋市環境局環境企画課 担当：梶田、能丸

TEL：052-831-8104 Mail：bdnagoya@kankyokyo.city.nagoya.lg.jp

## ●（事例共有）自然共生サイト認定の効果について【名古屋市】

名古屋市では、令和 5 年度後期になごや東山の森を自然共生サイトに認定申請し、令和 6 年 3 月に認定されました。

認定後半年ほど経ちその効果が見えてきています。本市としては、環境省主催の企業マッチングイベント等で積極的に PR をしています。

認定後の効果（令和 6 年 11 月現在）

- 保全団体への新規加入数（4～5月の合計） 認定前 5 名⇒認定後 11 名
- 企業からの支援申出（見込み含む） 金銭的支援 3 件、人的支援 2 件、技術的支援 2 件
- 新聞、ウェブ等記事掲載回数 8 回
- 市外からの視察 3 回
- 講演依頼 2 回

生物多様性自治体ネットワークは、30by30 アライアンスコアメンバーとして自然共生サイトの登録を推進する立場となっています。また、本ネットワークの指標として 30by30 アライアンス加盟自治体数（自然共生サイトに申請するとアライアンスにも同時に登録される）を設定し、11 月末時点で 49 自治体が登録しています。メリットの少なさが自然共生サイト登録申請の課題でしたが、登録を契機に PR を進めることで支援や注目が増える事例もありますので、各自治体においても取り組みの推進・促進をご検討いただければと思います。



なごや東山の森



NPO と市の共催で開催した自然観察会

（環境省）自然共生サイトマッチングサイト

<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/matching/index.html>

（名古屋市）自然共生サイトなごや東山の森について

<https://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000171769.html>

<問い合わせ先>

名古屋市環境局環境企画課 担当：池田、房村

TEL：052-972-2698 Mail：[a2662-01@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp](mailto:a2662-01@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp)

## ● 「在来種を育てよう運動 in いわくらの調整池」を開催しました【愛知県岩倉市】

岩倉市では、2024年11月12日（火）に尾張西部生態系ネットワーク協議会の協力のもと、市内にある川井野寄工業団地調整池において、「在来種を育てよう運動 in いわくらの調整池」を開催しました。

本イベントでは、調整池緑地帯に繁茂している外来種などの野草を抜き取り、そこにカワラナデシコやワレモコウなどの在来植物の種まきや苗の植え付けを行いました。

当日は、川井野寄工業団地内の企業の皆様をはじめ、市内外の団体や一般市民、尾張西部生態系ネットワーク協議会メンバーをあわせ、40名近くでのイベントとなりました。たくさんの地元企業の皆さんや団体の方にご参加いただき、身近な自然との共生や生物多様性の保全について考える良い機会になったと思います。



野草の抜き取り



在来植物の種まきや苗の植え付け

<問い合わせ先>

愛知県岩倉市市民協働部環境政策課 担当：今枝、佐久田、横井

TEL：0587-38-5808 Mail：kankyouseisaku@city.iwakura.lg.jp

その他

<今後の予定>

1月 J-GBF 地域連携フォーラム（テーマ 食と生物多様性）※詳細は検討中

<現在依頼中の案件>

なし

<J-GBF ネイチャーポジティブ行動計画における本ネットワークの指標の進捗状況>

指標	基準日※の数値 ※行動計画承認日（R5.9.12）	現在の数値 （R6.11.27 時点）	基準日からの増減
生物多様性自治体ネットワーク加盟自治体数	193 自治体	199 自治体	+ 6 自治体
加盟自治体における 30by30 アライアンス加入数	33 自治体	49 自治体	+ 16 自治体